

ULVACの価値創造 <研究開発とグローバル展開>

研究開発

中長期的な視点で持続的に価値を創造

ULVACはあらゆる産業分野に必要な不可欠な真空技術を核とした製品や材料を提供してきました。これからも真空技術を核に、顕在・潜在ニーズに応え得る革新的・先進的な技術開発を推進し、「付加価値」の高い製品や技術を創出することで、社会の発展に貢献していきます。

常に変化する市場に独創的な技術や商品を継続して提供するため、顧客のニーズや市場動向を分析し、「主力事業の主力商品の革新技術開発」と「将来の準備のための要素技術開発」を明確に区分して選択と集中を図ります。さらに、多様な企業や研究所などとのビジネスパートナーシップ等も通じて、開発体制を構築します。

また、グローバルなネットワークインフラ基盤やスマート社会の構築に伴う5GやIoTの進化、地球温暖化や気候変動などの環境問題などの社会課題にいち早く対応するため、先進的技術の獲得を目指し、長期にわたって持続的に成長する基盤形成に努めています。

主なテーマ

- ・ロジック
- ・NAND/DRAM
- ・次世代不揮発性メモリ
- ・次世代ディスプレイ
- ・次世代バッテリー
- ・通信デバイス
- ・パワーデバイス
- ・電子部品MEMS
- ・電子実装
- ・オプトデバイス

TOPICS

関連するSDGs

アルバック未来技術協働研究所の取り組み

2018年11月1日、国立大学法人大阪大学(以下「大阪大学」)吹田キャンパス内のセンテラス棟に、「アルバック未来技術協働研究所(以下「協働研究所」)」を開設しました。協働研究所では、大阪大学の産学連携の枠組みを通じて、工学分野での基礎研究シーズの実用化、医学分野での医工連携による学術領域と実社会への貢献、および産学人財交流を通して想像力豊かな人財育成に挑戦しています。また、当社においては、基礎研究拠点としての位置づけで、ULVACのオリジナル技術をベースにした次世代ディスプレイやフルカラー照明につながる量子ドット蛍光体の創造とその量産技術の検討、さらに超高速冷凍乾燥技術の応用開発として、医学分野や次世代セラミック分野の基盤技術の確立という新たな価値創造を目指しています。

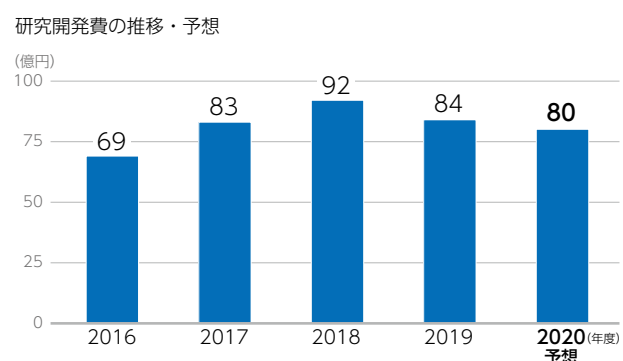
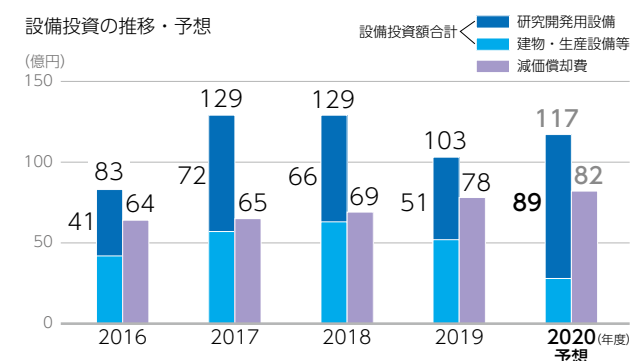
研究テーマ

① 次世代ディスプレイ(量子ドット、LED)の開発
② フォトン・スピンを利用した次世代デバイスの創製
③ 超高速冷凍乾燥技術による細胞保存の確立 など

大阪大学吹田キャンパス内
センテラス棟

設備投資及び研究開発費の推移・予想

研究開発投資(研究開発用設備投資+研究開発費)は成長分野である半導体電子を中心に新中期経営計画期間3年間で500億円を計画しています。



グローバルネットワーク

世界の産業発展を支えるソリューションネットワーク

日本国内はもとより、アジア・欧米を中心に、最適な開発・販売・製造・サービスのネットワークを構築しています。開発についてはグローバルな開発体制を活かし、世界のリーディング企業や先端研究機関との共同開発を推進しています。



モノづくりについては、日本、中国、韓国、台湾を主とした生産体制を拡大してきましたが、今後は最適生産を行うことで生産効率を向上していきます。また、従来は各拠点でそれぞれが地域サプライチェーンを構築しておりましたが、グローバル・サプライチェーンの再構築による最適調達を行っています。 [詳細](#) [P.26](#) 新中期経営計画「モノづくり力強化」

[詳細](#) [WEBサイト](#) » サポート > 販売拠点一覧

[詳細](#) [WEBサイト](#) » サポート > サービス拠点一覧

カスタマーサポート

グループの英知を結集したアルバックCSソリューションズ

国内外のカスタマーサポートネットワーク(13か国66拠点)を通じてライフサイクルのあらゆる場面で顧客が満足される生産活動のサポートを行っています。コンポーネントも含めた一括メンテナンスや、顧客のプロセスを含めた改善・改良提案を行い、さらには顧客のニーズを新たな装置開発にフィードバックすることで、より高度な真空技術やサービスの創出も目指します。また、IoT機器を活用したリモート型カスタマーサポートのパッケージを将来に向けて拡大展開していきます。

